

iStorage ソフトウェア
VMware vCenter Plug-in
インストールガイド

はじめに

このインストールガイドでは、WebSAM Storage VMware vCenter Plug-in のインストールに関して説明しています。
本製品は、VMware vCenter Server と連携する製品のため、VMware vCenter Server が稼働するサーバへインストールします。

注意

本製品は、Windows 版の VMware vCenter Server に対応しています。


備考

- 本書では、以下のプログラムプロダクトについて説明しています。
 - WebSAM Storage VMware vCenter Plug-in
- 本書は以下のプログラムプロダクト・バージョンに対応しています。
 - WebSAM Storage VMware vCenter Plug-in V1.2
- 本文中の以下の記述は、特に明示しない限り、対応する製品名を意味します。

本文中の記述	対応する製品名
VMware vCenter Plug-in	WebSAM Storage VMware vCenter Plug-in
vCenter Server	VMware vCenter Server
vSphere Client	VMware vSphere Client

- 商標および登録商標
 - Microsoft, Windows および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の商標または登録商標です。
その他、記載されている製品名、会社名等は各社の登録商標または商標です。
- 本製品は以下の OSS を含んでいます。ライセンスの詳細については「VMware vCenter Plug-in 利用の手引」(IS063) を参照ください。
 - Apache HTTP Server (<http://httpd.apache.org/>)
 - Apache log4j (<http://logging.apache.org/>)
 - Apache Tomcat (<http://tomcat.apache.org/>)
 - Apache Axis (<http://ws.apache.org/axis/>)
 - Spring Framework (<http://www.springsource.org/spring-framework>)
 - Ganymed SSH-2 for Java (<http://www.cleondris.ch/opensource/ssh2/>)

6. 本書では、特にご注意いただく内容を以下で示しております。内容については必ずお守りください。
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、設定済みの構成に影響がある場合があります。

表示の種類	
種 類	内 容
	操作において特に注意が必要な内容を説明しています。

2012 年 1 月 初 版

2013 年 3 月 第 3 版

目 次

第 1 章	WebSAM Storage VMware vCenter Plug-in	1
1.1	動作環境	1
1.2	インストール	2
1.3	アンインストール	9
1.4	アップデート	12
1.5	注意事項	13
1.5.1	ファイアウォールが導入されている環境	13
1.5.2	vSphere Client が導入されている環境	14

第1章 WebSAM Storage VMware vCenter Plug-in

1.1 動作環境

動作OS	Microsoft Windows XP Professional x64 Edition (SP 無、SP2) Microsoft Windows Server 2003, Standard x64 Edition (SP 無、SP2) Microsoft Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition (SP 無、SP2) Microsoft Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition (SP 無、SP2) Microsoft Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition (SP 無、SP2) Microsoft Windows Server 2008 Standard (SP 無、SP2) Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard (SP 無、SP1) Microsoft Windows Server 2008 Enterprise (SP 無、SP2) Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise (SP 無、SP1)
VMware vCenter Server	以下のバージョンに対応しています。 <ul style="list-style-type: none">・ VMware vCenter Server 4.1・ VMware vCenter Server 5.0・ VMware vCenter Server 5.1
JRE(Java Runtime Environment)	以下の JRE (32 ビット版) が必要になります。 <ul style="list-style-type: none">・ Version 7 update5～17・ Version 6 update17～43
メモリ	OS 必要メモリ + 300MB 以上
ディスク容量	100MB

1.2 インストール

以下の手順に従って、VMware vCenter Plug-in をインストールします。



1. VMware vCenter Plug-in では、32 ビット版の JRE(Java Runtime Environment)を使用します。32 ビット版の JRE がインストールされていない場合は、あらかじめインストールしてください。
- 2.. インストール先のディスクやフォルダに、クォータ管理※1 やファイルスクリーニング※2 を適用する場合には、適切なご利用をお願いします。これらの使い方を誤った場合、インストール中や運用中に問題となることがあります。

※1 使用容量に制限をかけ、設定した制限値以上は使用できないようにする機能です。

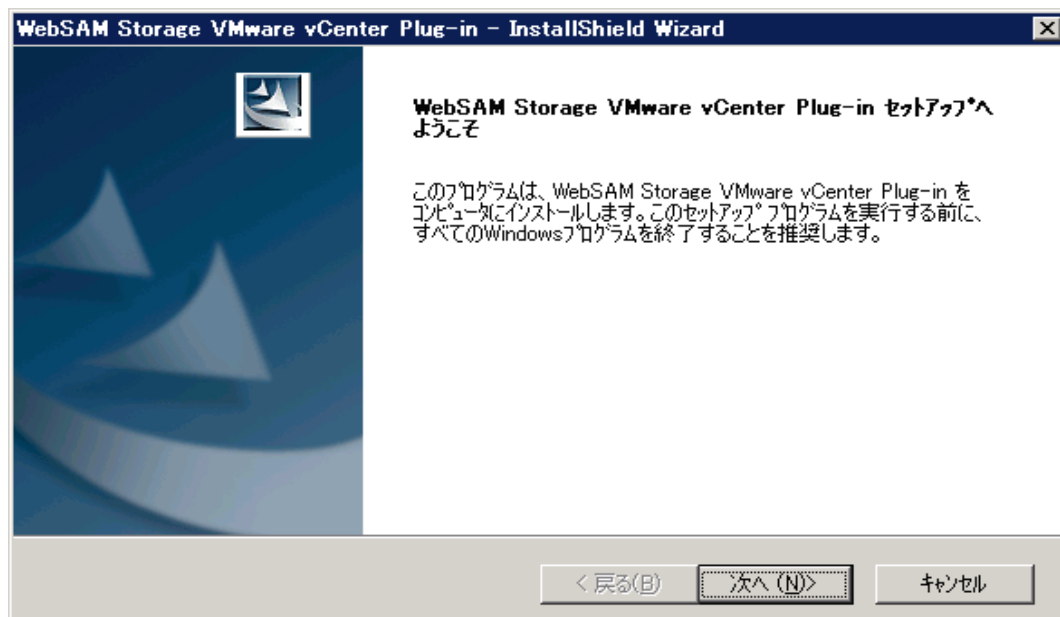
※2 特定のファイル名（拡張子）のファイルを保存させないようにする機能です。

- ① Administrator 権限のユーザで Windows にログオンし、エクスプローラなどから「SETUP.exe」を実行してください。

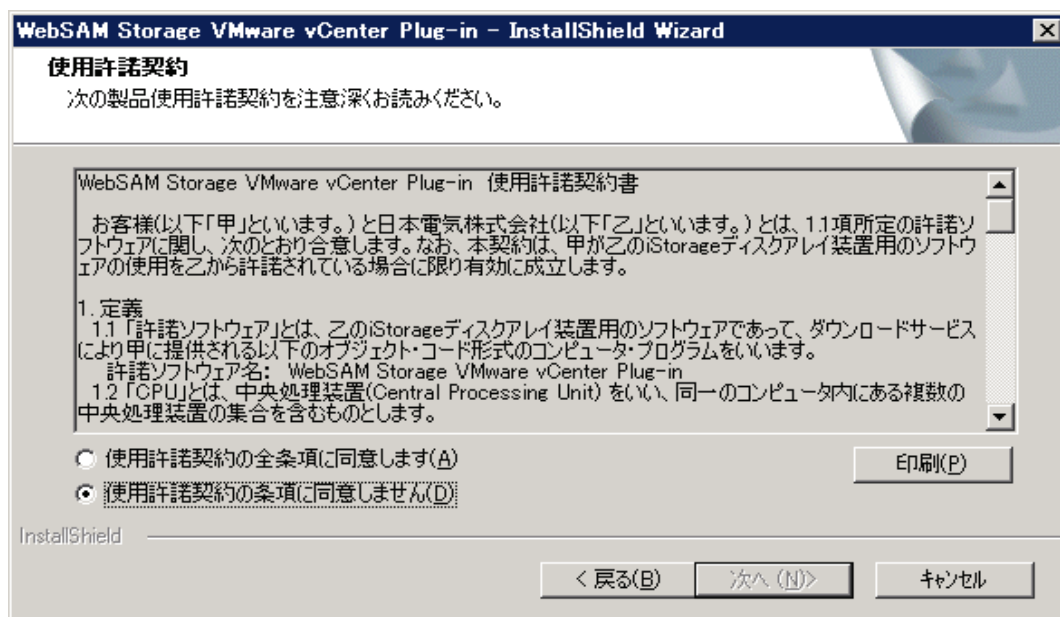
「ユーザーアカウント制御」のダイアログが表示された場合は、「続行」、または「はい」をクリックして、セットアップを開始してください。



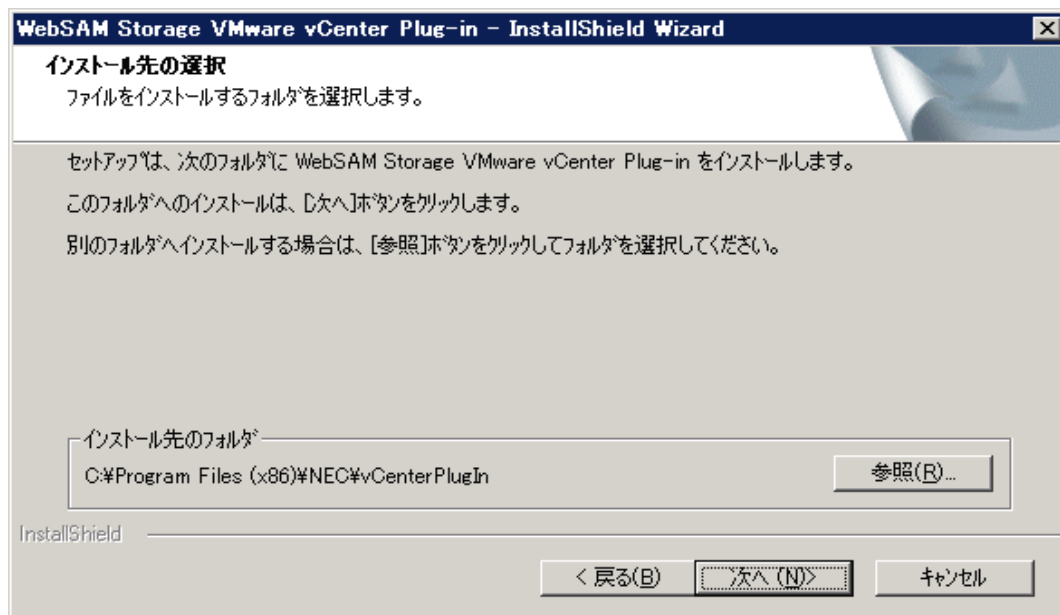
- ② 「ようこそ」画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



- ③ 「使用許諾契約」画面が表示されます。必ず最後まで読み、同意する場合は、「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択して「次へ」をクリックしてください。同意しない場合、本ソフトウェアは使用できません。



- ④ 「インストール先の選択」画面が表示されます。表示されているインストール先のフォルダで問題ない場合は、そのまま「次へ」をクリックしてください。インストール先のフォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、変更するフォルダを選択してください。



- ⑤ 「WebSAM Storage VMware vCenter Plug-in ポート番号設定」画面が表示されます。VMware vCenter Plug-in が使用する Web サービスのポート番号と Windows ファイアウォールの例外設定を行い、「次へ」をクリックしてください。
- なお、表示されているポート番号が他のアプリケーションなどと競合する場合は、変更してください。また、VMware vCenter Plug-in をインストールしたサーバとは異なるホストから vSphere Client の接続を許可する場合は、「許可する」を選択してください。






VMware vCenter Plug-in をインストールしたサーバにおいて、Windows ファイアウォールの設定が「すべての接続をブロックする」または、「例外を許可しない」の場合は、インストーラでの設定に関わらず、異なるホストから vSphere Client を接続することはできません。また、Windows ファイアウォールの設定が「無効」の場合は、インストーラでの設定に関わらず、異なるホストから vSphere Client が接続可能となります。

- ⑥ 「VMware vCenter Server IP アドレス設定」画面が表示されます。vCenter Server へ接続するための IP アドレスと HTTPS ポート番号を設定し、「次へ」をクリックしてください。

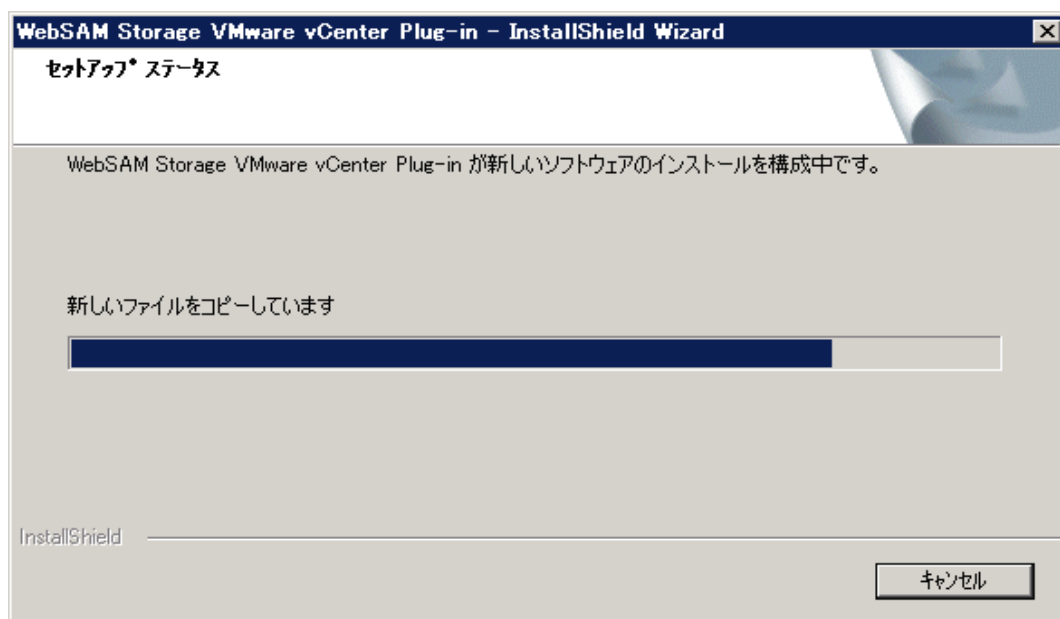


VMware vCenter Plug-in をインストールしたサーバとは異なるホストから vSphere Client を接続する場合は、ローカルループバックアドレス(127.0.0.1 や localhost など)は指定できません。

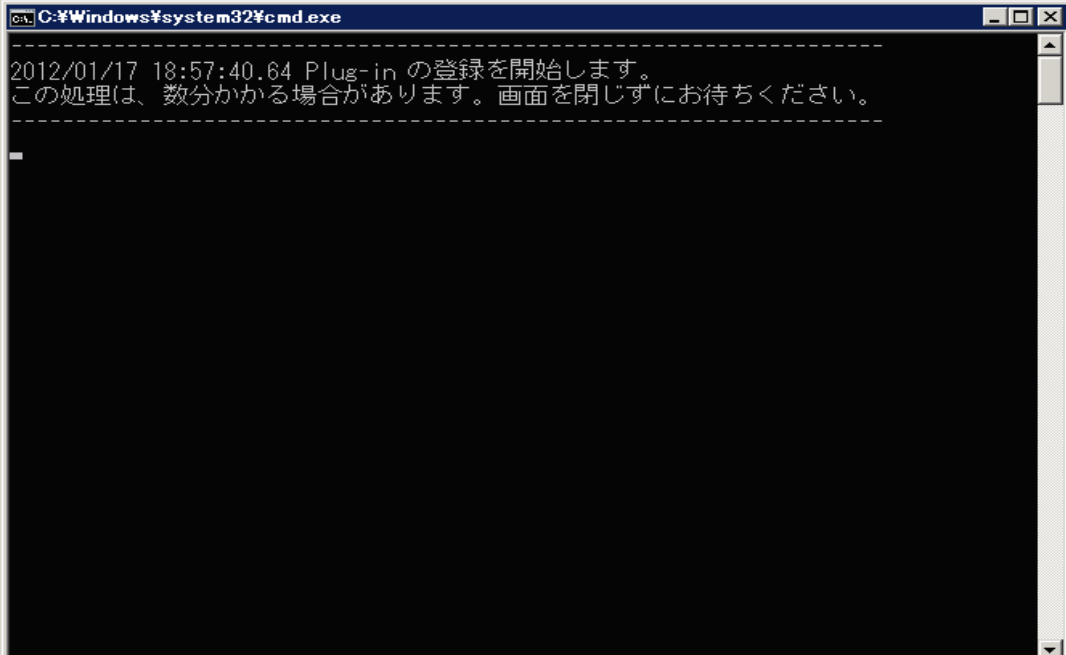
- ⑦ 「VMware vCenter Server 接続アカウント設定」画面が表示されます。vCenter Server へ接続するためユーザ名とパスワードを入力してください。確認のためもう一度パスワードを入力して、「次へ」をクリックしてください。



- ⑧ 「セットアップステータス」画面が表示され、ファイルのインストールが開始します。

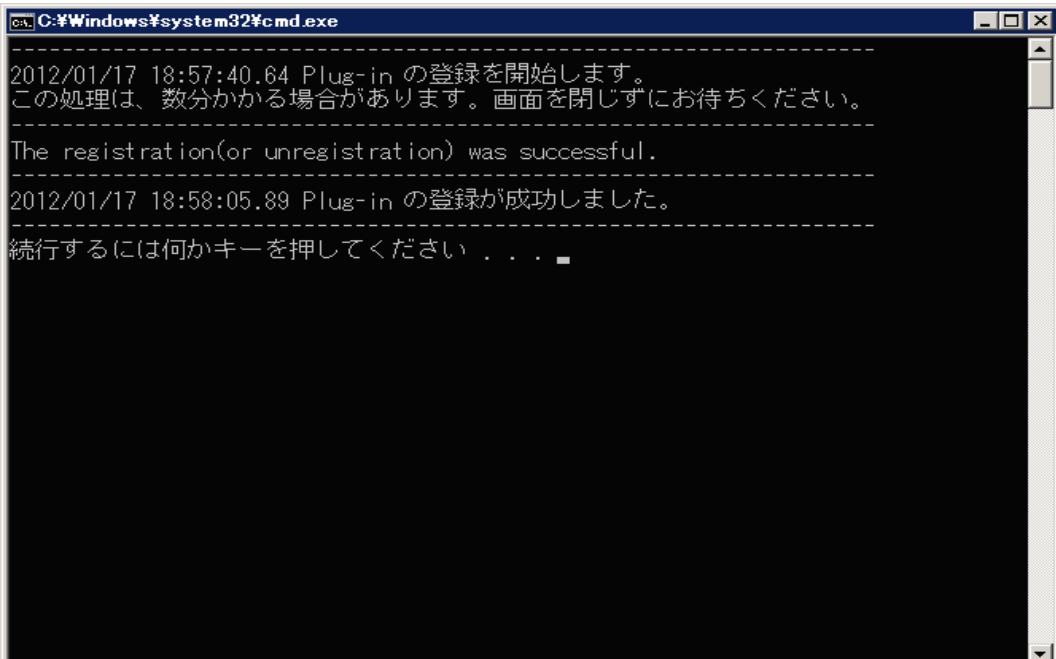


- ⑨ 「コマンドプロンプト」画面が表示され、vCenter Server へのプラグイン登録が始まります。
この処理は、数分かかる場合がありますので、画面を閉じずにそのままお待ちください。



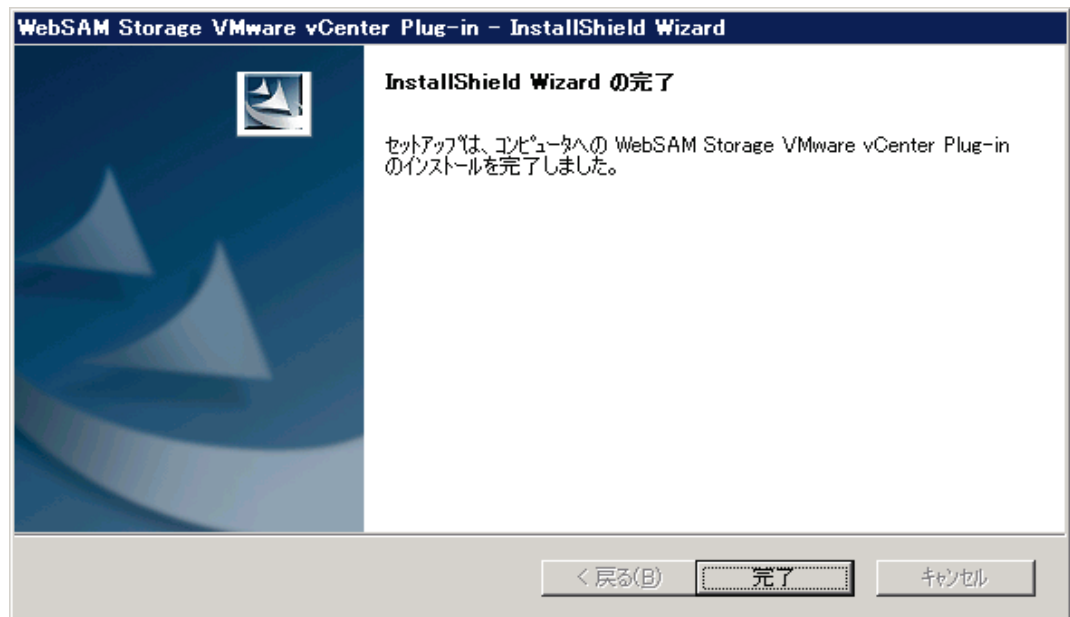
```
C:\Windows\system32\cmd.exe
2012/01/17 18:57:40.64 Plug-in の登録を開始します。
この処理は、数分かかる場合があります。画面を閉じずにお待ちください。
-
```

- ⑩ vCenter Server へのプラグイン登録が終了したら、何かキーを押してください。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
2012/01/17 18:57:40.64 Plug-in の登録を開始します。
この処理は、数分かかる場合があります。画面を閉じずにお待ちください。
-----
The registration(or unregistration) was successful.
-----
2012/01/17 18:58:05.89 Plug-in の登録が成功しました。
-----
続行するには何かキーを押してください . . .
```

- ⑪ 以上で、インストールは終了です。「完了」をクリックしてください。

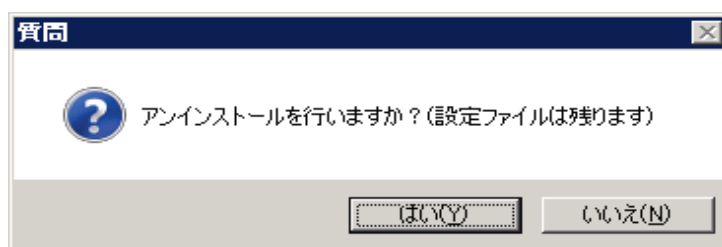


異なるホストから vSphere Client を接続する場合、ホスト間のネットワーク上にファイアウォールが導入されている環境では、ファイアウォールの設定を追加する必要があります。詳細は、「1.5.1 ファイアウォールが導入されている環境」を参照してください。

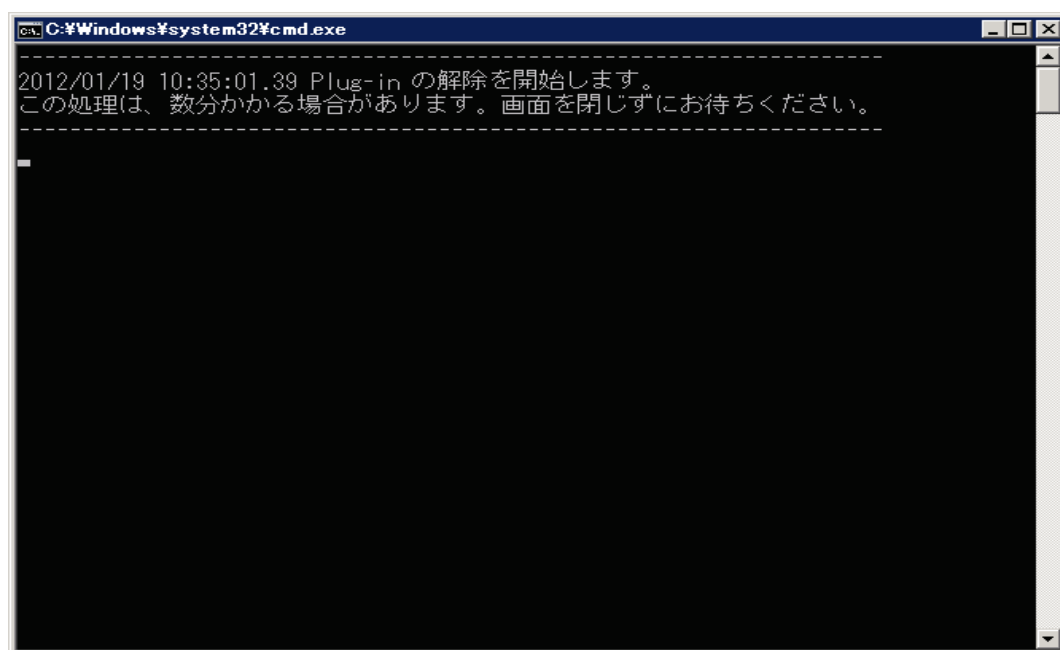
1.3 アンインストール

以下の手順に従って、VMware vCenter Plug-in をアンインストールします。

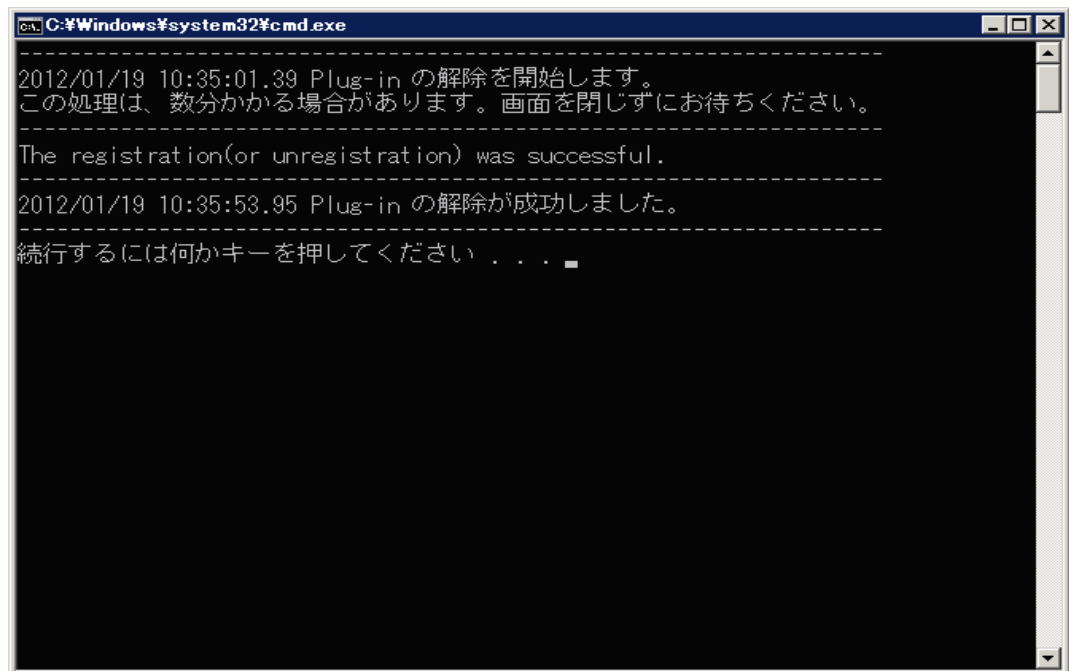
- ① Administrator 権限のユーザで Windows にログオンします。
- ② 「コントロールパネル」の「プログラムと機能」（Windows Server 2003 または、Windows XP の場合は「プログラムの追加と削除」）により、ソフトウェア「WebSAM Storage VMware vCenter Plug-in」をアンインストールします。
「ユーザーアカウント制御」のダイアログが表示された場合は、「続行」、または「はい」をクリックして、アンインストールを開始してください。
- ③ 「質問」画面が表示されます。VMware vCenter Plug-in をアンインストールする場合は、「はい」をクリックしてください。



- ④ 「コマンドプロンプト」画面が表示され、vCenter Server からプラグインの解除が始まります。
この処理は、数分かかる場合がありますので、画面を閉じずにそのままお待ちください。

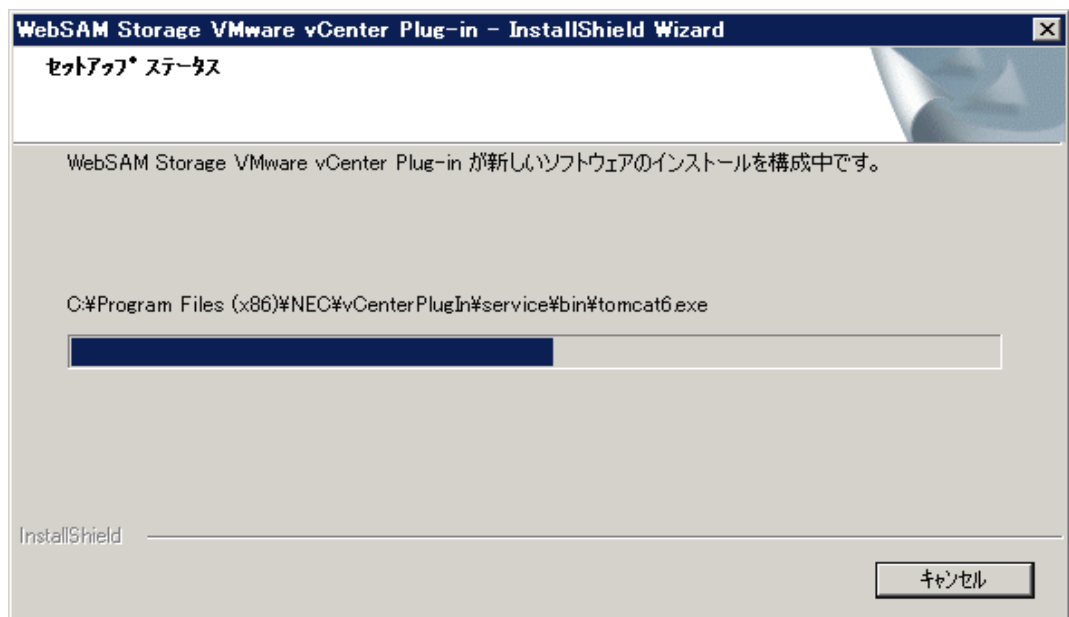


- ⑤ プラグインの解除が終了したら、何かキーを押してください。

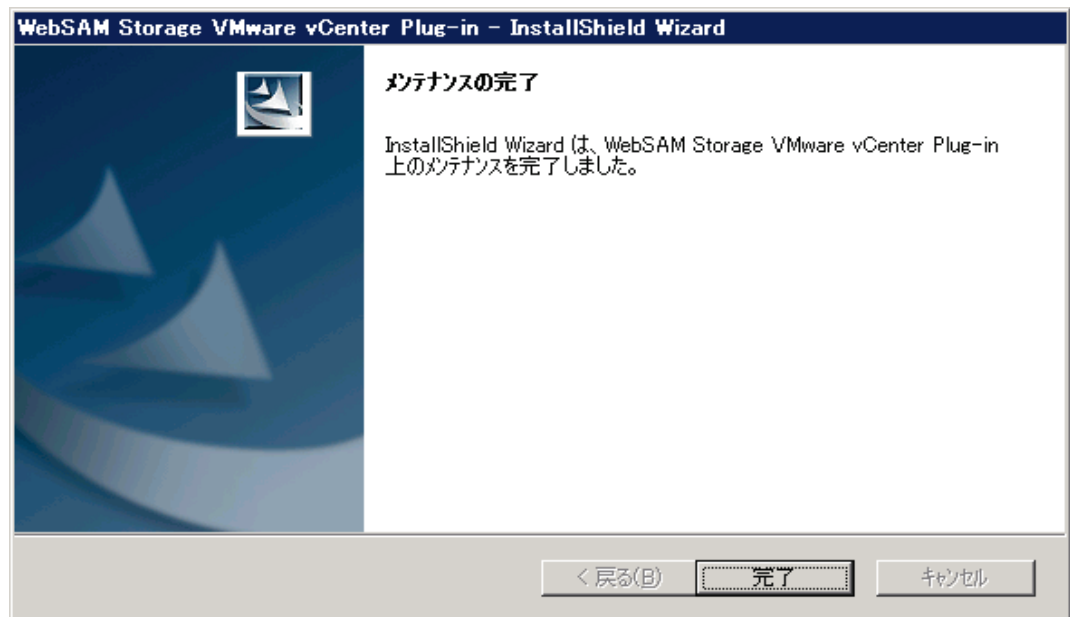


```
C:\Windows\system32\cmd.exe
2012/01/19 10:35:01.39 Plug-in の解除を開始します。
この処理は、数分かかる場合があります。画面を閉じずにお待ちください。
-----
The registration(or unregistration) was successful.
-----
2012/01/19 10:35:53.95 Plug-in の解除が成功しました。
-----
続行するには何かキーを押してください . . .
```

- ⑥ 「セットアップステータス」画面が表示され、ファイルのアンインストールが開始します。



- ⑦ 以上で、アンインストールは終了です。「完了」をクリックしてください。



インストール先のフォルダには、アンインストール後も各種設定ファイルが残ります。再度インストールする場合は、これらの設定を引き継ぐことができます。
不要であれば、インストール先フォルダ配下のファイルを全て削除してください。

1.4 アップデート

vCenter Plug-in を旧バージョンからアップデートする場合は、旧バージョンのアンインストールを行い、本バージョンのインストールを行います。この場合、インストール先フォルダが旧バージョンと同じであれば、設定情報などは全て引継がれます。

手順は、「1.3 アンインストール」、「1.2 インストール」を参照してください。

1.5 注意事項

1.5.1 ファイアウォールが導入されている環境

ホスト間のネットワーク上にファイアウォールが導入されている環境では、以下のポートをあける必要があります。

■vSphere Clinet – VMware vCenter Plug-in 間

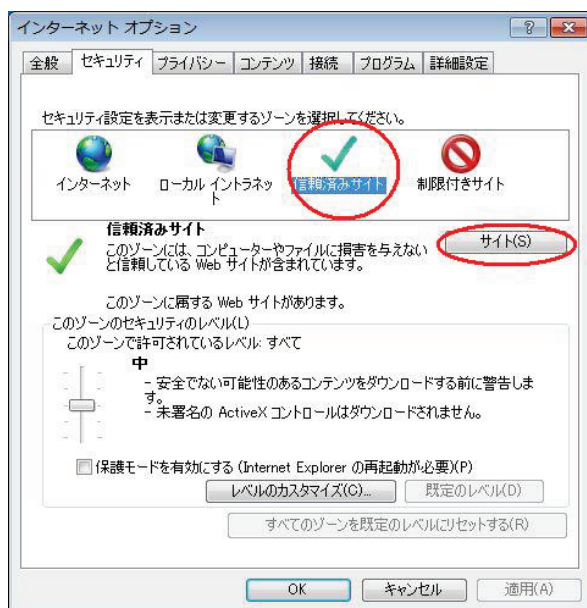
SOURCE	DESTINATION
VMware vSphere Clinet ANY	WebSAM Storage VMware vCenter Plug-in 8980 ^{*1} /TCP
^{*1} インストール時に「WebSAM Storage VMware vCenter Plug-in ポート番号設定」画面で設定したポート番号 1 の値(既定値:8980)	

1.5.2 vSphere Client が導入されている環境

vSphere Client が導入されている環境にて、接続先の vCenter Server を「信頼済みサイト」に設定してください。

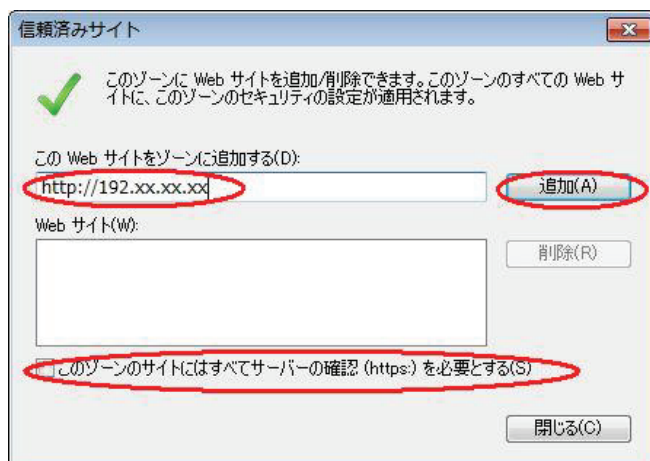
設定方法は以下の通りです。

- (1) 「コントロールパネル」から「インターネット オプション」－「セキュリティ」タブを選択してください。
- (2) 「信頼済みサイト」を選択し、「サイト」ボタンをクリックしてください。



- (3) 「次の Web サイトをゾーンに追加する」に、接続する vCenter Server の URL (http://[IP アドレス(またはホスト名)]) を入力し、「追加」ボタンをクリックしてください。

※「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする」のチェックは外してください。



- (4) 「OK」ボタンをクリックし、画面を閉じてください。

(このページは空白です)